

会 告

会員事務処理の機械化実施に当つて会員各位の ご理解ご協力をお願いについて

日 本 鉄 鋼 協 会

工学系各学協会で組織している日本工学会では学会の会員管理業務のシステム化の検討を進め昭和 48 年度にほぼその成案ができ上りました。

本会は電気学会、電子通信学会、日本鋳業会と共にその成案にもとずいて会員に関する事務処理を共同して機械化するための細部の検討を行ない、明年 4 月からの機械化実施を目標に 10 月から移行作業に取掛ることとなりました。

これは会員の入退会、住所、勤務先等の変更、会誌の発送ラベルの打出し、会費の請求、入会、督促、会員名簿原稿の作成などの業務の大部分を機械化するもので、学会事務の合理化に資するものであります。

新しいシステムに移行するためには会員各位に関する正確なデータが必要ですので、改めて調査を行なうこととなりましたのでご協力をお願いします。誠に面倒ながら、別途お送りする調査カードの各欄に必ずご記入の上、期日までにご返送下さい。

日本鉄鋼協会北海道支部

昭和 49 年秋季講演会開催案内

本会北海道支部では、日本金属学会北海道支部と共催で、下記により秋季講演会を開催いたします。多数ご参加下さいますようご案内申し上げます。

記

日時：昭和 49 年 11 月 21 日 (木) 10:00~17:00
22 日 (金) 10:00~15:45

場所：室蘭市水元町 37 丁目 7 室蘭工業大学学生会館

演題および講演者

[第 1 日目]

- 1) アルミニウムおよびアルミニウム合金の凝固組織におよぼす人工対流の影響
室工大 桃野 正
 - 2) 大型鋼塊中の酸化物系非金属介在物の大きさならびに組成分布について
日鋼 一宮 義昭
 - 3) 鋳塊における等軸晶の生成に及ぼすパウダー凝固の影響
旭高専 佐藤 知敏
 - 4) 溶滓中を流下する溶銑粒の挙動について
北大 石井 邦宜
 - 5) 二源蒸着法による Ag-Cr 合金膜の形成
北大 岡田亜紀良
 - 6) オーステナイト系ステンレス鋼の耐食性および加工変質層の影響
日鋼 角地 喜一
 - 7) Fe-1.2%Mn 合金と FeS 系硫化物の恒温反応について
北大 米沢 襄
- 13:35~17:00 特別講演ならびに湯川記念講演を予定 (演題未定)

[第 2 日目]

- 8) Zn-Al 共析合金の超塑性におよぼす第三元素の影響
室工大 田中 雄一

- 9) 合金の高温腐食に関する二、三の考察

北大 成田 敏夫

- 10) 純鉄の水素脆性
北大 菊地 茂

- 11) CaF₂-TiO₂ 並びに CaF₂-CaO-TiO₂ 系融体の熱分析
北大 広田 謙

- 12) Fe-Fe₃C 構造の溶解におよぼす電位および pH の影響
室工大 菅原 英夫

- 13) SUS 304 鋼の穴拡げ性について
新日鉄 子安 善郎

- 14) 石炭内装法による含鉄ダストの還元処理
室工大 島田 浩次

- 15) 酸化鉄粉から粉末冶金製品への一貫工程の検討
釧高専 馬島 梓

- 16) 高炉炉頂部の装入物偏析と操業への影響について
新日鉄 磯山 正

- 17) 分塊圧延における計算機システムの適用
新日鉄 関 修

- 18) 大型電気炉用建家集塵について
日鋼 佐々木一男

- 19) 丸鋼、角鋼孔型設計の自動化
新日鉄 三浦 成

- 20) 溶接構造用 80 キロ高張力鍛鋼の性能について
日鋼 安食 精一

日本鉄鋼協会東海支部

湯川記念講演会開催案内

下記により湯川記念講演会を開催いたしますので多数御聴講下さいますよう御案内申し上げます。

記

日時：昭和 49 年 12 月 5 日 (木) 13:00~16:30

会場：名古屋市千種区不老町

名古屋大学附属図書館視聴覚室

題目及び講師：

「製鋼技術の進歩を願つて」
 新日本製鉄株式会社
 取締役生産管理部長 石原 重利君
 「鉄冶金学における溶鉄と酸素の話題」
 名古屋大学教授 井上 道雄君

問い合わせ先：

名古屋市千種区不老町
 名古屋大学工学部金属鉄鋼工学教室内
 日本鉄鋼協会東海支部

一日米合同シンポジウム

「金属の凝固」開催案内

期日：昭和49年11月7日(木)～8日(金)

会場：日本都市センター
 千代田区平河町2-4 (代) 265-8211

共催：日本鉄鋼協会、日本鋳物協会ほか

第1日(11月7日)

9:45 開会の辞 東京大学名誉教授 梶山 正孝
 10:00 デンドライト形態と溶質分配について
 東京大学 梅田 高照
 11:00 一方向凝固と複合々金
 東京医科歯科大学 三浦 維四

13:00 Solidification of ingots
 MIT 教授 M. C. Flemings
 16:00 討論 司会 大阪大学 岡本 平

第2日(11月8日)

9:00 Solidification of Shaped ingots
 MIT 教授 M. C. Flemings
 13:00 鋳塊の等軸晶帯について
 神戸製鋼所 鈴木 章
 14:15 パネルディスカッション
 司会 大阪大学 岡本 平

参加料：30,000円(共催協賛学協会々員)
 35,000円(共催協賛学協会々員以外)

本シンポジウムは事務局として下記が担当しておりますので直接手続をお取り下さい。

申込方法および申込先：

国際産業企画協会(JIPA)
 〒107 東京都港区赤坂 3-17-8
 TEL 03-585-6451

第11回材料強度に関する討論会

主催 日本材料学会 協賛 日本鉄鋼協会ほか

期日：昭和49年11月14日(木)、15日(金)

会場：日本青年館第2会議室
 〒160 東京都新宿区霞ヶ丘11
 TEL 03-401-0101～9

前刷：講演前刷約150頁 1冊2,500円
 申込先 〒606 京都市左京区吉田泉殿町1-101
 TEL 075-761-5321

日本材料学会材料強度に関する討論会
 係 振替口座 京都 26625 番

懇親会：11月14日(木)夕刻 会費1名1,500円
 参加申込みは上に同じ

プログラム

11月14日 9:15～17:00

[テーマI]：X線回折法の現場への応用
 各種材料へのX線応力測定法の応用
 山口大工 蒲地 一義
 複雑および大型形状物のX線応力測定
 武工大 吉岡 靖夫
 X線回折法の現場問題への応用例
 三菱重工 後藤 徹
 X線回折法の2,3の応用例
 (残留オーステナイト量, 表面被膜厚測定その他)
 新日鉄八幡技研 長尾 節夫
 X線半価幅, 回折像解析の応用

小松技研 中西 英介
 ころがり疲労現象解析へのX線回折法の応用
 不二越 永田 寛
 パネルディスカッション 座長 鉄研 岩本 貢

11月15日 9:30～17:00

[テーマII]：「高温強度と強度設計の考え方」
 高温における破壊の特性について
 京大工 大谷 隆一
 耐熱材料の高温特性に及ぼす製造条件の影響
 日立日立研 佐々木良一
 高温強度設計における問題点
 三菱重工神研 砂本 大造
 船舶機関部品の損傷率と安全率
 海事協会 岡実 星野 次郎
 船体構造に関する疲労強度 川重技研 恒成 利康
 実働荷重下の台車溶接継手の疲れ強さ
 鉄研 田中真一, ほか
 実働寿命推定のための加速疲れ試験
 トヨタ自工 中野 謙一, ほか
 パネルディスカッション
 座長 川重技研 中村 宏

学術講演会「エネルギー開発と材料」

開催のお知らせ

主催 日本材料学会 協賛 日本鉄鋼協会ほか

日時 昭和49年11月29日(金曜日)10:00～16:00

場所 慶応義塾大学工学部第一会議室
 横浜市港北区日吉町矢上台
 (東横線日吉駅下車徒歩10分)

講演

1. 総論 田宮 繁文
2. 水素と材料 横浜国大 太田 時雄
3. 原子炉材料(耐熱材料) 原 研 近藤 達夫
4. 原子炉材料(セラミックス) 東京工大 鈴木 弘茂

第 11 回高温材料技術講習会

セラミックス産業とエネルギー

(セラミックス産業における将来のエネルギー問題と省エネルギー対策)

主催 窯業協会 協賛：日本鉄鋼協会ほか

期日：昭和 49 年 12 月 4 日 (水)～6 日 (金)

場所：日本都市センター別館講堂

東京都千代田区平河町 2 丁目

第 1 日 12 月 14 日 (水) 「エネルギーの現状と将来」

9:40 窯業とエネルギー 東工大 山内 俊吉

10:20 エネルギー資源の現状と将来

日大理工 崎川 範行

13:00 これからの技術革新 東工大 林 雄二郎

14:00 新エネルギーの問題 一原子力、核融合—

原研 村田 浩

15:30 サンシャイン計画 工技院 菊池 昭二

第 2 日 12 月 5 日 (木)

「高温燃焼技術の今後の開発と省エネルギー」

9:00 燃焼工学の基礎的諸問題 京大工 功刀 雅長

10:20 板ガラス溶解炉の熱エネルギー解析と考察

日本板硝子 加藤 正躬

11:10 固体、ガス間の伝熱理論 石播 清水 信

13:00 鉄鋼業におけるエネルギー問題

新日鉄 片田 中

14:00 セメント工業と省エネルギー

小野田セメント 片岡 幹夫

15:10 ガラス工業と省エネルギー

大工試 長岡欣之介

16:05 耐火物、陶磁器工業用の窯炉の

エネルギー問題 京工織大 若松 猛

第 3 日 12 月 6 日 (金)

「セラミックス材料の将来の指向」

9:00 窯業と固体反応の必要とするエネルギー

東工大 山口 悟郎

10:30 セラミックスの低温焼結

東工大原子炉研 鈴木 弘茂

13:00 不焼成耐火物の現状と将来の開発問題

黒崎窯業 片瀬 伝治

14:10 パネルディスカッション

「セラミックス産業の将来ビジョンとエネルギー」

総合司会 田賀井秀夫 (無機材研)

副司会 太田 千里 (旭化成工業)

パネラー (以下各予定) 斎藤俊太郎 (イン
ライト工業), 佐多敏之 (東工大工
材研), 島田信郎 (日本鋼管), 鈴
木弘茂 (東工大原子炉研), 戸田
栄 (戸田超耐火物), 山口悟郎 (東
工大)

定員：150 名 先着順

申込締切：11 月 20 日 (水)

受講料：会員 (窯業協会特別会員会社々員および協賛

先個人会員を含む) 1 名 22,000 円

官公庁、学校在職者 〃 18,000 円

学 生 〃 10,000 円

上記以外 〃 28,000 円

※いずれもテキスト 1 部を含む、昼食は自
弁に願います。

申込先・送金先・問合せ先

プログラム (申込書付、案内付) を下記にご請求下さ
い。急送します。

160 東京都新宿区百人町 2 丁目 22-7

窯業協会 (企画委員会) 電話 03-362-5232